

海軍公報

第百七十四號

昭和二年八月一日(月)
海軍大臣官房

○辭令

○昭和二年八月一日

(各通)

海軍豫備一等兵曹

同

佐野宗之助
春原秀助

任海軍豫備兵曹長

(各通)

海軍豫備一等機關兵曹

同

中山淺恵
山下恒七

任海軍豫備機關兵曹長

桑田實五郎

皆元慶三

加藤好幸

弓井兩一

内村優

高橋優

田中壽輔

三谷竹一

猪熊茂枝

末田聰

赤崎一

任海軍豫備一等兵曹

(各通)

任海軍豫備一等機關兵曹

島崎正彦

渡邊清二

宮永豊彦

太田龍藏

津止龍藏

平野重雄

永本伊太郎

乃美一正

小林鐵雄

大塚武夫

池田武勝

西山英勝

景山英勝

高木信一

多田孝四郎

大田孝四郎

福原幸七

岡田梅路

遠山宜治

海軍公報 第百七十四號

昭和二年八月一日

七六三

海軍艦政本部附ヲ免シ海軍艦政本部勤務ヲ命ス(七月二十一日)
海軍省)

海軍技術研究所附海軍技手 伊藤 隆吉
兼横須賀海軍工廠附ヲ命ス(八月同)

○雜款

○郵便物發送先

第二潜水戦隊司令部及軍艦長鯨、第十七潜水隊(伊
五三、伊五二、伊五一)宛

八月 十日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 伯

同 十七日迄ニ 同 吳

同 二十日迄ニ 同 佐世保

其ノ後ハ第二艦隊司令部ニ同シ

○郵便物發送先變更(六月二十九日)
(本欄参照)

軍艦龍田宛

當分ノ間 佐世保

海軍機關大尉正七位加納美佐雄ハ七月二十一日函
館ニ於テ峯風短艇衝突沈没ノ際殉職セリ

○艦船所在 指定ヲハシメセズ

○八月一日午前十時調

【横須賀】 千早、筑摩、榛名、北上、日進、

阿蘇、滿州、

区野風、沼風、波風、驅一、驅三、

区灘風、島風、夕風、沙風、区杉、榊、

松、柏、三日月、白露、楓、

波一、波二、波九、波一〇、呂一、

呂二、呂三、呂五、呂五、呂五、

呂五、呂六、区呂二、呂二、呂三、

区伊一、伊二、伊三、伊二、

区掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響、

武藏、富士、松江、大泊、青島、洲崎、

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

【浦賀】 (驅三三)

春日

【大湊】 澤風、峯風、

【吳】 明石、千歲、淀、霧島、球磨、韓崎、

勝利、木曾

区驅四、驅二、驅八、驅六、区萩、薄、

藤、高

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、呂二八、区呂五一、呂五三、

区呂五七、呂五八、呂五九、区呂一七、

呂一八、呂一九、区呂一六、呂一四、

呂一五、呂三一、区呂二六、呂二七

区浦波、水無月、長月、菊月、磯波、綾波

野間、野島、劍崎、朝日、攝津、石廊

(那智)、(伊五五)

【神戶】 (衣笠)、(伊二二)

【德山】 区驅二、驅一九、驅二三、驅二五

知床、室戸

【佐伯】 鬼怒、阿武隈、由良、伊勢、風翔

橘

【舞鶴】 鶴見、能登呂、間宮

吾妻、多摩

【土崎】 区榎、櫻、桑、椿

【佐世保】 五十鈴

最上、名取、出雲、若宮、天龍、長良、

龍田

区驅三

呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、

呂二四、呂三三、呂三五、区呂三二、

呂二九、呂三〇、呂六六

朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風

敷島、佐多

(伊五四)

【西戶崎】 高崎

【長崎】 (青葉)

【馬公】 区驅三、驅五、驅七、驅九

【鎮海】 区山風、海風、檜、榎

海軍公報 第百七十四號 昭和二年八月一日

七八五

【旅順】區驅一三、驅二〇、驅一六、驅一八
 【青島】區矢風、沖風
 【上海】區平戸、對馬、八雲、嵯峨
 【鎮江】區時津風、樅
 【南京】區利棋、天津風、濱風、區楡
 【漢口】區柳、川内、安宅、伏見
 【長沙】區勢多、鳥羽
 【沙市】區勢多、鳥羽
 【宜昌】區勢多、鳥羽
 【萬縣】區比良、保津
 【廈門】區大井
 【廣東】區宇治、淺間
 【桑港】區磐手、淺間

【航海中】
 神威 (七月十六日横須賀發「シヤートル」)
 駒橋 (七月二十日佐世保發「長崎港外」)
 桂 (七月二十五日横須賀發「波浮」)

早鞆 (七月二十六日「オハ」發「徳山」)
 膠州 (七月二十七日「メジユロ」發「ロンダラ」)
 襟裳 (七月二十八日「シヤートル」發「桑港」)
 口長門、陸奥、日向、常磐、迅鯨、口金剛、比叡、加古、古鷹、神通、那珂、夕張、長鯨、樺、梨、竹、梅、柿、楡、栗、菱、董、蕨、葦、藜、蓬、蓮、驅二八、驅二七、驅二九、驅三〇、驅一一、驅一七、驅一三、驅一五、驅一六、梅、楡、櫻、樺、口呂六四、呂六三、呂六八、呂六一、呂六〇、呂六二、呂六七、呂六五、區伊五三、伊五二、伊五一 (七月三十日有明灣發「佐伯灣」)
 隱戸 (七月三十日吳發「オハ」)
 扶桑 (七月三十一日横須賀發「佐伯灣」)
 驅三四 (七月三十一日吳發「佐世保」)
 口谷風、江風、菊、葵 (七月三十一日馬公發「高雄」)
 笠戸丸 (七月三十一日上海發「九江」)
 山城、口帆風、羽風、秋風、太刀風 (一日母島發「佐伯灣」)
 赤城 (一日大分發「佐伯」)

(部内限ナシ)

海軍公報

第百七十五號

昭和二年八月二日(火)
海軍大臣官房

○辭令

海軍技手 中山 清一
第四部附ヲ命ス(二十六日)海軍艦政本部

○雜款

○司令潜水艦變更
第二十六潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ呂號第六十一潜水艦ヨリ呂號第六十二潜水艦ニ變更セリ

○郵便物發送先

聯合艦隊司令部、第一艦隊司令部、軍艦長門、陸奥、由良、常磐、鳳翔、第六驅逐隊(梅、楠)宛
八月 十日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 伯
同 十九日迄ニ 同 佐 世 保
同 三十一日迄ニ 同 舞 鶴

其ノ後ハ

敦 賀

第一水雷戰隊司令部、軍艦龍田、第二十六驅逐隊(梅、柿、榆、栗)、第二十五驅逐隊(樅、梨、竹、榎)、第二十七驅逐隊(菱、蕨、葦、菫)、第二十八驅逐隊(蓼、蓮、蓬)、第一潜水戰隊司令部、軍艦迅鯨、第二十七潜水隊(呂六七、呂六五)、第二十四潜水隊(呂六四、呂六八、呂六三)、第二十六潜水隊(呂六二、呂六〇、呂六一)宛

八月三十一日迄ニ到達見込ノモノハ

第一艦隊司令部ニ同ジ

其ノ後ハ

小 濱

軍艦伊勢、日向、第三戰隊司令部、軍艦鬼怒、阿武隈宛

八月 十日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 伯

同 十七日迄ニ 同 吳

其ノ後ハ第一艦隊司令部ニ同ジ

海軍公報 第百七十五號 昭和二年八月二日

七八七

○艦船所在

指印ハハホノ
定テヲ要セズ

○八月三日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、

阿蘇、蒲州

野風、沼風、波風、驅一、驅三、

瀨風、島風、夕風、沙風、杉、榊、

松、柏、三日月、白露、楓

波一、波二、波九、波一〇、呂一、

呂二、呂三、呂五、呂四、

呂五、呂六、呂二二、呂二一、呂二〇、

伊一、伊二、伊三、伊二二

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響

武藏、富士、松江、大泊、青島、洲埼

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

浦賀(驅三)

天濠、澤風

吳、明石、千歲、淀、霧島、球磨、韓崎、

勝力、木曾

驅四、驅二、驅八、驅六、萩、薄、

藤、鷲

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、呂二八、呂五二、呂五三、

呂五七、呂五八、呂五九、呂六一七、

呂一八、呂一九、呂二六、呂一四、

呂一五、呂三一、呂二六、呂二七

【神戶】

浦波、水無月、長月、菊月、磯波、綾波、

野間、野島、劍埼、朝日、攝津、石廊

(那智)、(伊五五)

(衣笠)、(伊二二)

室戸

長門、陸奥、伊勢、日向、鬼怒、

阿武隈、由良、迅鯨、金剛、比叡、

加古、古鷹、神通、那珂、夕張、

長鯨、風翔、扶桑、赤城

從、梨、竹、梅、柿、楡、菱、巖、葦、

參、蓬、驅一七、驅一八、驅二七、驅二九、

驅三〇、驅一七、驅一三、驅一五、驅一九、

驅二三、驅三五、驅二五、驅二七、驅二九、

呂六四、呂六三、呂六八、呂六二、

呂六〇、呂六一、呂六七、呂六五、

伊五三、伊五二、伊五一

鶴見、能登呂、間宮

吾妻、多摩

榎、櫻、桑、椿

五十鈴

最上、名取、出雲、若宮、天龍、長良

驅三三、驅三四

呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、

呂二四、呂二三、呂二五、呂三二、

呂二九、呂三〇、呂六六

朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風

敷島、佐多、知床

(伊五四)

海軍公報 第七十五九 昭和二年八月三日

七八九

| | |
|----------|-------------|
| 長崎 (青葉) | 江風、菊、葵 |
| 馬公 (山谷風) | 海風、檜、榎 |
| 鎮海 (山風) | 驅一〇、驅一六、驅一八 |
| 旅順 (尻矢) | |
| 塘沽 (沖風) | 對馬、嵯峨 |
| 青島 (平戸) | |
| 上海 (矢矧) | |
| 鎮江 (利根) | 隅田 |
| 南京 (桃) | |
| 蕪湖 (浦風) | |
| 九江 (柳) | 安宅、伏見 |
| 大冶 (川内) | |
| 漢口 (磯風) | |
| 長沙 (鳴戸) | |
| 沙市 (鳥羽) | |
| 宜昌 (勢多) | 保津 |
| 萬縣 (堅田) | |
| 廈門 (比良) | |
| 廣東 (大井) | |
| 香港 (宇治) | |
| 〔航海中〕 | 淺間 |

神威 (七月十六日横須賀發「シヤートル」)
駒橋 (七月二十日佐世保發「長崎港外」)

桂 (七月二十五日横須賀發「波浮」)
早稲 (七月二十六日「オハ」發「徳山」)
膠州 (七月二十七日「メジユロ」發「ロンゲラツプ」)
襟裳 (七月二十八日「シヤートル」發「桑港」)
隱戸 (七月三十日吳發「オハ」)
笠戸丸 (七月三十一日上海發「九江」)
山城 (帆風、羽風、秋風、太刀風) (一日母島發「佐伯灣」)
龍田 (一日佐世保發「佐伯」)
春日 (一日母島發「横須賀」)
常磐 (桐、橘) (一日佐伯發「佐世保」)
天津風、濱風 (一日南京發「漢口」)
驅二一 (一日徳山發「佐伯」)
董、栗、榧、蓮 (一日佐伯發「別府灣」)
樅 (一日上海發「鎮江」)
驅三、驅五、驅七、驅九 (一日海壇島發「横須賀」)
高崎 (一日西戸崎發「吳」)
驅一一 (一日佐伯發「佐世保」)
大和 (一日小黒山島沖作業地發「木浦」)

(部内限二頁)

海軍公報

第七十六號

昭和二年八月三日(水)

海軍大臣官房

○令 達

官房第二六〇三號

昭和二年度歳出科目左ノ通追加ス

昭和二年八月三日

海軍大臣

歳出臨時部

| 款 | 項 | 目 | 節 | 解 疏 | 會計科目 電信略號 |
|--------|--------|-------|---|-----|--------------|
| (大演習費) | (大演習費) | (演習費) | | | |
| | | 港用品費 | | | |
| | | | | | ムヒ |

○雜 款

○當隊ニ轉勤者ノ赴任地ニ關スル件

當隊司令部及各艦ヘノ轉勤者ヲシテ往々海軍公報ニ依
ル艦船所在地ニ向ケ赴任セシメラルル向アルモ公報掲
載時ニハ既ニ所在地ヲ變更シ居ル場合アルベク着任時
ニハ更ニ變化スルコトモ有之候故赴任地ニ關シテハ當
該所轄長ニ照會ノ上出發セシメラルル様御取計ヲ得
度

(第二遣外艦隊司令部)

海軍公報 第七十六號 昭和二年八月三日

七九一

2094

○艦船所在 指定ヲ要セズ

○八月三日午前十時調

〔横須賀〕 千早、筑摩、榛名、北上、日進、

阿蘇、滿州、
野風、沼風、波風、驅一、驅三、
瀨風、島風、夕風、沙風、杉、神、
松、柏、三日月、白露、楓、

波一、波二、波九、波一〇、波一二、
呂一、呂二、呂三、呂五、呂四、
呂五、呂六、呂二二、呂二一、呂二〇、
伊一、伊二、伊三、伊二二

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、
夕立、夕暮、如月、響、
武藏、富士、松江、大泊、青島、洲崎、
加賀、(妙高)、(伊五八)

〔浦賀〕 峯風、澤風、
〔大湊〕 明石、千歲、淀、霧島、球磨、韓崎、
〔大井〕 勝力、木曾、
〔大井〕 驅四、驅二、驅八、驅六、驅一、驅七、
藤、葛、

波三、波四、波五、波六、波七、波八、
呂五三、呂二八、呂五二、呂五三、
呂五七、呂五八、呂五九、呂一七、
呂一八、呂一九、呂一六、呂一四、
呂一五、呂二六、呂二七

海軍公報 第百七十六號 昭和二年八月三日

〔神戶〕 浦波、長月、菊月、磯波、綾波、
野間、野島、劍崎、朝日、攝津、石廊、
高崎、
〔那智〕、(伊五五)、
〔衣笠〕、(伊二二)

日向、陸奥、伊勢、
由良、迅鯨、金剛、比叡、
古鷹、神通、那珂、夕張、
鳳翔、扶桑、赤城、
風櫃、榎、梨、竹、梅、柿、楡、
荻、蕨、葦、蓮蓬、
驅二七、驅二九、驅三〇、驅一七、
驅一三、驅一五、驅一九、驅二三、
驅二五、區梅、楠、櫻、橘

呂六四、呂六三、呂六八、呂六二、
呂六〇、呂六一、呂六七、呂六五、
伊五三、伊五二、伊五一、
鶴見、能登呂、間宮、
吾妻、多摩、
區榎、櫻、桑、椿

〔舞鶴〕 五十鈴、
〔能代〕 最上、名取、出雲、若宮、天龍、長良、
〔佐世保〕 常磐、
驅三三、驅三四、區桐、樺、區驅一一、
呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、
呂二四、呂二三、呂二五、呂三二、

七九三

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|------------------|----------|------|--------------------|------|------|---------------|-------|----------|----------|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 長崎 | 馬公 | 鎮海 | 木浦 | 旅順 | オハ | 塘寮 | 青島 | 上海 | 吳淞 | 鎮江 | 南京 | 太湖 | 九江 | 大冶 | 漢口 | 長沙 | 沙市 | 宜昌 | 萬縣 | |
| 〔青葉〕 | 〔山谷風〕 | 〔山風〕 | 〔大和〕 | 〔驅一、二、驅一〇、驅一六、驅一八〕 | 〔尻矢〕 | 〔矢風〕 | 〔平戸、對馬、八雲、嵯峨〕 | 〔時津風〕 | 〔利根、笠戸丸〕 | 〔檜、桃、浦風〕 | 〔柳、川内、磯風〕 | 〔磯風〕 |
| 呂二九、呂三〇、呂六六 | 朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風 | 敷島、佐多、知床 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-----------------|------------------|------------------------|----------------|------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|--------------|-----------|-------------|------------|-------|-----|-------|------|------|-------|------|------|--|
| 厦門 | 大井 | 廣東 | 宇治 | 桑港 | 磐手、淺間 | 襟裳 | 神威 | 航海中 | 駒橋 | 桂 | 早稲 | 膠州 | 隱戸 | 山城 | 龍田 | 春日 | 堅田 | 天津風 | 栗 | 水無月 | 室戸 | 隅田 | |
| 〔大井〕 | 〔宇治〕 | 〔磐手、淺間〕 | 〔襟裳〕 | 〔神威〕 | 〔航海中〕 | 〔駒橋〕 | 〔桂〕 | 〔早稲〕 | 〔膠州〕 | 〔隱戸〕 | 〔山城〕 | 〔龍田〕 | 〔春日〕 | 〔堅田〕 | 〔天津風〕 | 〔栗〕 | 〔水無月〕 | 〔室戸〕 | 〔隅田〕 | 〔水無月〕 | 〔室戸〕 | 〔隅田〕 | |
| 〔七月二十日佐世保發—長崎港外〕 | 〔七月二十五日橫須賀發—波浮〕 | 〔七月二十六日「オハ」發—徳山〕 | 〔七月二十七日「メジユロ」發—「ロンダラ」〕 | 〔七月三十日吳發—「オハ」〕 | 〔一日母島發—佐伯〕 | 〔一日母島發—橫須賀〕 | 〔一日宜昌發—重慶〕 | 〔一日南京發—漢口〕 | 〔一日徳山發—佐伯〕 | 〔一日佐伯發—別府灣〕 | 〔一日海壇島發—橫須賀〕 | 〔一日吳發—佐伯〕 | 〔二日徳山發—橫須賀〕 | 〔三日鎮江發—上海〕 | | | | | | | | | |

(部内限一頁)

海軍公報

第七十七號

昭和二年八月四日(木)

海軍大臣官房

○令達

官房第二六〇七號

本年海軍大演習參加中ノ部隊ニ在ル下士官兵ニシテ正規ノ期日ニ於テ滿期退團セシムルコト能ハザル者在ルトキハ在籍鎮守府司令長官ハ之ガ入團及退團ニ必要ナル期日迄其ノ服役ヲ延期スルコトヲ得ル儀ト心得ベシ

右訓令ス

海軍大臣

官房第二六一一號

昭和二年官房第七八〇號ニヨリ採用スベキ偵察練習生ハ同年度後期採用ノ分ニ限リ志願者ノ範圍ヲ昭和二年十二月海軍水雷學校普通科電信術教程終了豫定者ニ限定シ且海軍航空隊練習部規則第十五條ノ學術試験ハ

海軍公報 第七十七號 昭和二年八月四日

之ヲ行ハザルコトトス

昭和二年八月四日

海軍大臣

(三月十日海軍公報參照)

○通牒

艦本第四五六〇號

昭和二年八月四日

海軍艦政本部長

海軍共濟組合關係各廳長殿

埋葬料給付ニ關スル件

海軍共濟組合規則ニ依リ給付スル埋葬料給付ハ遺族ノ順位ヲ附セザルモノトス

○雜款

○司令驅逐艦變更

七九五

カ
イ
ド
登
載

カ
イ
ド
登
載

第二十九驅逐隊司令ハ本月一日司令驅逐艦ヲ臨時第一號驅逐艦ヨリ第十七號驅逐艦ニ變更セリ

○特務艦洲崎行動豫定

| 地名 | 着 | 發 |
|-----|--------|--------|
| 横須賀 | 八月十日 | 八月七日 |
| 大湊 | 八月十六日 | 八月十一日 |
| オハ | 八月十六日 | 八月二十三日 |
| 徳山 | 八月三十一日 | 九月二日 |
| 鎮海 | 九月三日 | 九月四日 |
| 旅順 | 九月七日 | 九月十日 |
| 横須賀 | 九月十六日 | |

○特務艦知床行動豫定

| 地名 | 着 | 發 |
|------|--------|--------|
| 佐世保 | 八月二十八日 | 八月二十八日 |
| 馬公 | 九月二日 | 九月五日 |
| タラカン | 九月十二日 | 九月十三日 |
| マニラ | 九月十八日 | 九月二十日 |
| 徳山 | 九月二十八日 | 九月二十九日 |
| 佐世保 | 九月三十日 | |

○郵便物發送先
特務艦洲崎宛

| | |
|----------------|-----|
| 八月六日迄ニ到達見込ノモノハ | 横須賀 |
| 同 三十一日迄ニ同 | 徳山 |
| 九月八日迄ニ同 | 旅順 |
| 其ノ後ハ | 横須賀 |

○郵便物發送先
特務艦知床宛

| | |
|------------------|---------|
| 八月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ | 佐世保 |
| 九月四日迄ニ同 | 馬公 |
| 其ノ後ハ | 徳山郵便局留置 |

○郵便物發送先變更(七月十二日)
特務艦鶴見宛

自今 佐世保

○七月二十九日公報本欄中軍艦勝力行動豫定並郵便物發送先ヲ取消ス

○國際聯盟新嘉坡保健部東局傳染病週報(自七月十七日)至同 二十三日

八月五日
後

| | | | | | |
|---------|------|---|----|------|--|
| ポルトサイド | 患者死者 | 一 | 痘瘡 | 患者死者 | |
| アデン | 患者死者 | | 痘瘡 | 患者死者 | |
| バスマラ | 患者死者 | 五 | 痘瘡 | 患者死者 | |
| バセイン | 患者死者 | 七 | 痘瘡 | 患者死者 | |
| 孟買 | 患者死者 | 二 | 痘瘡 | 患者死者 | |
| カルカッタ | 患者死者 | | 痘瘡 | 患者死者 | |
| マドラス | 患者死者 | | 痘瘡 | 患者死者 | |
| 蘭 | 患者死者 | 五 | 痘瘡 | 患者死者 | |
| ツキザガバタム | 患者死者 | | 痘瘡 | 患者死者 | |
| スラバヤ | 患者死者 | | 痘瘡 | 患者死者 | |
| パンゼルマジン | 患者死者 | | 痘瘡 | 患者死者 | |
| 盤谷 | 患者死者 | 四 | 痘瘡 | 患者死者 | |
| ハイフオン | 患者死者 | 九 | 痘瘡 | 患者死者 | |
| | 患者死者 | 七 | 痘瘡 | 患者死者 | |

海軍公報 第百七十七號 昭和二年八月四日

| | | |
|---------|------------------------|----------|
| 摘要 | 「バレンバン」、「サマリンダ」、廣東及浦潮斯 | 德ハ孰モ報告未着 |
| 長崎 | | |
| 大連 | | |
| 奉天 | | |
| 香港 | | |
| 西貢、シロロン | | |
| ツ、イ、ラ、ン | | |

本月一日常磐變災ニ依リ同日以後殉職セシモノ左ノ如シ

海軍中佐正六位勳四等功五級 峰木 茂
 海軍中佐從六位勳四等 中庭 祐 詔
 海軍少佐從六位勳六等 帖 佐 久
 海軍機關特務中尉從七位勳六等 川田 新 助
 海軍特務少尉正八位勳六等 橋口 忠 三
 下士官兵 二七名
 傭人 二名

來六日午後一時三十分佐世保海軍凱旋記念館ニ於テ合同葬儀施行

七九七

海軍大尉正七位岡田茂ハ本月二日東京市下谷區池之端仲町二一自宅ニ於テ死去、來七日午前九時ヨリ同十時迄淺草區榮久町玉宗寺(淺草區橋場側)ニ於テ佛式ニヨリ告別式施行

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○八月四日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、

阿蘇、滿州、春日

野風、沼風、波風、驅一、驅三、

灘風、島風、夕風、沙風、杉、櫛、

松、柏、三日月、白鷺、楓、桂、

波一、波二、波九、波一〇、呂一、

呂二、呂三、呂五、呂五五、呂五〇、

呂五六、呂三三、呂二一、呂二〇、

伊一、伊二、伊三、伊二一、

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響

武藏、富士、松江、大泊、青島、洲崎

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

(驅三三)

【浦賀】

峯風、澤風

【大湊】

明石、千歳、淀、霧島、球磨、韓崎、

勝力、木曾

驅四、驅二、驅八、驅六、萩、薄、

藤、葛

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、呂二八、呂五二、呂五三、

呂五七、呂五八、呂五九、呂一七、

呂一八、呂一九、呂一六、呂一四、

呂二五、呂二六、呂二七

【神戶】

浦波、菊月、磯波、綾波、

野間、野島、劍崎、朝日、攝津、石廊、

高崎

那智、(伊五五)

那智、(伊二二)

早瀬

長門、陸奥、伊勢、鬼怒、阿武隈、

由良、龍田、迅鯨、金剛、比叡、

加古、古鷹、神通、那珂、夕張、

長鯨、風翔、扶桑、赤城、山城、

樞、樞、梨、竹、梅、柿、楡、菱、

蕨、蕨、葦、藜、蓮、蓬、驅二八、

驅二七、驅二九、驅三〇、驅一七、

驅二三、驅一五、驅一九、驅二三、

驅二五、梅、楠、櫻、橘、帆風、

羽風、秋風、太刀風

呂六四、呂六三、呂六八、呂六二、

呂六〇、呂六一、呂六七、呂六五、

伊五三、伊五二、伊五一

鶴見、能登呂、間宮

吾妻、多摩

榎、櫻、桑、椿

五十鈴

最上、名取、出雲、若宮、天龍、長良、

常磐

驅三三、驅三四、桐、樺、驅一一、

呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、

呂二四、呂二三、呂二五、呂三二、

海軍公報 第百七十七號 昭和二年八月四日

七九九

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|------------|--------|-------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 長崎 | 馬公 | 鎮海 | 旅順 | 青島 | 上海 | 吳淞 | 鎮江 | 南京 | 燕湖 | 九江 | 大冶 | 漢口 | 長沙 | 沙市 | 宜昌 | 萬縣 | 廈門 |
| 青葉 | 山谷 | 山 | 順 | 塔 | 時 | 利 | 柳 | 桃 | 浦 | 川 | 磯 | 磯 | 磯 | 磯 | 磯 | 磯 | 磯 |
| 呂二九、呂三〇、呂六六 | 潮、初雪、子日、春風 | 海風、菊、葵 | 八雲、嵯峨 | 安宅、伏見 | | | | | | | | | | | | | |

【廣東】 宇治、淺間
 【桑港】 襟裳、神威
 【シヤトル】 神威

【航海中】
 駒橋 (七月二十日佐世保發—長崎港外)
 隠戸 (七月三十日吳發—「オハ」)
 堅田 (一日宜昌發—重慶)
 天津風、濱風 (一日南京發—漢口)
 粟 (一日德山發—佐伯)
 粟 (一日佐伯發—別府灣)
 膠州 (一日海壇島發—橫須賀)
 膠州 (一日「ロングラップ」發—「ミレ」)
 室戸 (一日德山發—橫須賀)
 岡田 (三日鎮江發—上海)
 日向 (三日德山發—作業地)
 對馬 (三日青島發—芝罘)
 呂三一 (三日室積發—美保關)
 長月 (三日吳發—佐伯)
 水無月 (四日佐伯發—吳)
 大和 (四日木浦發—小黑山島沖作業地)

(部内限一頁)

海軍公報

第百七十八號

昭和二年八月五日(金)
海軍大臣官房

○辭令

○昭和二年八月四日

任海軍技手
給六級俸

大山 晋次郎

海軍軍工廠附ヲ命ス(海軍省)

海軍技手 大山 晋次郎

○雜款

○特務艦青島行動豫定

| 地名 | 着 | 發 |
|-----|-------|-------|
| 横須賀 | | 八月十五日 |
| 西戸崎 | 八月十八日 | 十九日 |
| 佐世保 | 二十日 | 二十二日 |
| 長崎 | 二十二日 | 二十四日 |
| 鎮海 | 二十五日 | 二十八日 |

○郵便物發送先

| 艦隊司令部、軍艦金剛、比叡宛 | 發送先 | 日期 |
|------------------------|--------|-----------------|
| 第二艦隊司令部、軍艦金剛、比叡宛 | 佐伯 | 八月十日迄ニ到達見込ノモノハ |
| 同 | 德山 | 同 |
| 但シ軍艦比叡宛 | 德山 | 同 |
| 同 | 德山 | 八月十一日迄ニ到達見込ノモノハ |
| 同 | 佐世保 | 同 |
| 同 | 島根縣美保關 | 同 |
| 同 | 同 | 同 |
| 同 | 同 | 同 |
| 第五戰隊司令部、軍艦加古、古鷹、神通、那珂宛 | 同 | 同 |

| 旅順 | 發送先 | 日期 |
|-----|-----|--------|
| 旅順 | 旅順 | 九月三十一日 |
| 佐世保 | 佐世保 | 九月六日 |
| 德山 | 德山 | 九月九日 |
| 吳須賀 | 吳須賀 | 九月十一日 |
| 横須賀 | 横須賀 | 九月十五日 |
| 長崎 | 長崎 | 九月二十三日 |
| 舞鶴 | 舞鶴 | 九月二十六日 |
| 吳須賀 | 吳須賀 | 九月三十日 |
| 横須賀 | 横須賀 | 十月四日 |
| 旅順 | 旅順 | 九月八日 |
| 佐世保 | 佐世保 | 九月十二日 |
| 德山 | 德山 | 九月十九日 |
| 吳須賀 | 吳須賀 | 九月十九日 |
| 横須賀 | 横須賀 | 九月二十四日 |
| 長崎 | 長崎 | 九月二十八日 |
| 舞鶴 | 舞鶴 | 十月一日 |
| 吳須賀 | 吳須賀 | 十月一日 |

| | |
|--|-----|
| 八月 十 日迄ニ到達見込ノモノハ | 佐伯 |
| 同 十三 日迄ニ | 鹿兒島 |
| 但シ軍艦神通、那珂宛 | |
| 八月十六日迄ニ到達見込ノモノハ | 吳 |
| 其ノ後ハ第二艦隊司令部ニ同シ | |
| 第二水雷戰隊司令部、軍艦夕張、第二十二驅逐隊(驅二八、驅二九、驅三〇、驅二七)、第二十九驅逐隊(驅一七、驅一五、驅一三)、第三十驅逐隊(驅二一、驅一九、驅二三、驅二五)、特務艦能登呂宛 | |
| 八月 十 日迄ニ到達見込ノモノハ | 佐伯 |
| 同 二十 日迄ニ | 佐世保 |
| 其ノ後ハ第二艦隊司令部ニ同シ | |
| 第五驅逐隊(驅三、驅五、驅七、驅九)宛 | 横須賀 |
| 當分ノ間 | |
| 第十一號驅逐艦宛 | 佐世保 |
| 當分ノ間 | |
| 特務艦鶴見宛 | 佐世保 |
| 八月二十 日迄ニ到達見込ノモノハ | 佐世保 |
| 其ノ後ハ第二艦隊司令部ニ同シ | |
| 特務艦青島宛 | 横須賀 |
| 八月十四 日迄ニ到達見込ノモノハ | 横須賀 |
| 同 十八 日迄ニ | 西戸崎 |

| | | |
|-------------------------------------|---|-----|
| 同 二十一 日迄ニ | 同 | 佐世保 |
| 同 二十三 日迄ニ | 同 | 長崎 |
| 同 二十七 日迄ニ | 同 | 鎮海 |
| 九月 一 日迄ニ | 同 | 旅順 |
| 同 七 日迄ニ | 同 | 佐世保 |
| 同 九 日迄ニ | 同 | 德山 |
| 同 十一 日迄ニ | 同 | 吳山 |
| 同 十八 日迄ニ | 同 | 横須賀 |
| 同 二十三 日迄ニ | 同 | 長崎 |
| 同 二十七 日迄ニ | 同 | 舞鶴 |
| 同 三十 日迄ニ | 同 | 吳山 |
| 其ノ後ハ | 同 | 横須賀 |
| ○郵便物發送先變更(八月二日) | | |
| 軍艦常磐宛 | | 佐世保 |
| 自今 | | |
| ○正誤 | | |
| 本月四日公報雜款欄中、中庭中佐ノ位勳「從六位勳四等」正六位勳四等」ノ誤 | | |

海軍公報 號外

昭和二年八月五日(金)
海軍大臣官

○令達

官房第二六二二號

大正十一年法律第五十二號、大正十二年勅令第二百六十六號ニ依ル第二回海軍勞働統計實地調査施行規則左ノ通定ム

昭和二年八月五日

海軍大臣

第二回海軍勞働統計實地調査施行規則

第一條 第二回海軍勞働統計實地調査ハ昭和二年十月十日之ヲ行フ

第二條 本規則ニ於テ所屬長官ト稱スルハ鎮守府司令長官、要港部司令官、海軍艦政本部長及海軍航空本部長ヲ謂フ

第三條 本規則ハ勞働者三十人以上ヲ使役スル附表ノ作業廳ニ適用シ各廳ヲ各一工場又ハ一鑛山ト看做ス

第四條 所屬長官ハ本調査ノ施行ヲ指揮監督スベシ

海軍公報 號外

第五條 本規則ニ於テ勞働者ト稱スルハ左ニ掲グル者ヲ謂フ

- 一、海軍工務規則ヲ適用又ハ準用スル職工
- 二、鑛夫
- 三、常備及臨時傭人夫ニシテ工場又ハ鑛山ノ作業ニ従事スル者

第六條 工場(鑛山)及勞働者ニ付調査スベキ事項左ノ如シ

- 一、工場(鑛山)
- 1. 工場又ハ鑛山ノ名
- 2. 工場又ハ鑛山ノ所在地
- 3. 事業ノ種類
- 4. 勞働者現在數
- 5. 一日ノ所定勞働時間
- 6. 一日ノ所定休憩時間
- 7. 一ヶ月ノ所定休業日數
- 8. 賃物給與ノ種類及價額
- 二、勞働者
- 1. 氏名
- 2. 男女ノ別
- 3. 出生ノ年月

4. 出生地
 5. 配偶者ノ有無
 6. 教育ノ程度
 7. 職名
 8. 就業ノ年數
 9. 賃錢
 10. 實物給與ノ有無

第七條 前條ノ調査事項ハ事業票及勞働票ニ記入スルモノトス

事業票及勞働票ハ内閣統計局調製ノモノヲ海軍省ヨリ交付ス

第八條 所屬長官ハ昭和二年八月二十日現在ヲ以テ事業票及勞働票ノ所要枚數ヲ調査シ工場用及鑛山用ニ分チ九月十五日迄ニ海軍省ニ通知スベシ

所屬長官事業票及勞働票ヲ受領シタルトキハ直ニ之ヲ第十條ノ勞働調査係長ニ交付スベシ

第九條 本規則ニ依ル事務施行期間ハ昭和二年九月十五日ヨリ十一月三十日迄トス但シ所屬長官ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第十條 第二回海軍勞働統計實地調査事務執行ノ爲當該事務施行期間本規則適用ノ各作業廳ニ勞働調査係長、勞働調査係員（以下係長及係員ト稱ス）ヲ置ク其ノ人員附表ノ如シ

必要ニ應ジ係長補助又ハ係員補助ヲ置クコトヲ得係員ノ數ハ情況ニ依リ之ヲ増減スルコトヲ得

係員ヲ置カザル場合ニ於テハ其ノ事務ハ係長之ヲ行フモノトス

第十一條 係長ハ作業廳長ヲ以テ之ニ充テ所屬長官之ヲ命ズ

係員、係長補助及係員補助ハ作業廳ノ職員及職工中ヨリ當該作業廳長之ヲ命ジ其ノ官職（職工ニ在リテハ職種及階級）氏名ヲ所屬長官ニ報告スベシ

所屬長官ハ係長以下ノ官職（職工ニアリテハ職種及階級）氏名ヲ昭和二年九月二十五日迄ニ海軍大臣ニ報告スベシ其ノ移動アリタルトキ亦同シ

第十三條 係長以下ノ業務左ノ如シ

1. 係長ノ業務
1. 係員ヲ指揮シ調査ニ關スル一切ノ事務ヲ掌理ス
2. 九月三十日迄ニ勞働者名簿（別紙第一號様式）ヲ作製シ爾後十月十日迄ニ勞働者ニ移動アリタルトキハ係員ノ報告ニ基キ其ノ都度之ヲ訂正ス
3. 九月三十日迄ニ係員ニ業務分擔範圍ヲ指定シ其ノ範圍内ノ勞働者名簿寫ヲ交付ス
4. 所屬長官ヨリ事業票及勞働票ヲ受領シタルトキハ事業票ハ自ラ之ヲ保管シ勞働票ハ之ヲ係員ニ交付ス
5. 十月十日ヨリ同十五日迄ニ事業票ニ其ノ調査事項ヲ記入ス

八月八日
後

6. 係員ヨリ提出シタル労働票ヲ事業票ト對照檢査ス
調査不能ノ労働票アルトキハ其ノ旨労働者名簿ニ記入ス
7. 十一月十五日迄ニ前號ノ檢査ヲ完了シ事業票、労働票及労働者名簿ヲ一括シ所屬長官ニ提出ス
- 二、係員ノ業務
1. 自己ノ分擔範圍ニ屬スル労働者ニ異動アリタルトキハ速ニ之ヲ係長ニ報告ス
係長ヨリ受領シタル労働票ニ自己ノ分擔範圍ニ屬スル労働者名簿記載ノ氏名及番號ヲ十月九日迄ニ記入ス
3. 自己ノ分擔範圍ニ屬スル労働者ニ就キ各調査事項ヲ十月十日ニ於テ出勤セル労働者ニ間ヒ其ノ申告ニ基キ之ヲ労働票ニ記入ノ上労働者ニ示シ記入事項ニ誤謬ナキヤ否ヲ確メタル後當該労働者ノ署名捺印ヲ求ム
調査事項ハ他ノ帳簿等ヨリ轉記スベカラズ又署名ハ代筆スベカラズ但シ署名シ得ザル労働者アリタルトキハ代筆シ其ノ旨労働者名簿ニ記註スベシ
十月十日ニ出勤セザル労働者アルトキハ十月十五日迄ニ出勤スルヲ待チ又ハ其ノ居所ニ就キ前號ニ依リ調査ス

海軍公報 號外

居所不明等ノ爲十月二十日迄ニ調査不能ノ労働者アルトキハ當該労働票ニ「調査不能」ト記シ其ノ事由ヲ明記ス
労働票ハ之ヲ番號順ニ整理シ十月三十日迄ニ係長ニ提出ス

三、係長補助及係員補助ノ業務
係長又ハ係員ノ命ヲ承ケ調査事務ニ従事ス

第十三條 所屬長官ハ係長ノ提出シタル事業票、労働票及労働者名簿ニ要計表（別紙第二號様式）ヲ添ヘ昭和二年十一月三十日迄ニ之ヲ海軍大臣ニ提出スベシ

第十四條 本調査ノ爲特ニ經費ヲ要スルトキハ工作廳（海軍火藥廠ヲ除ク）ニ在リテハ造船造兵及修理費、附屬費、其ノ他ノ作業廳ニ在リテハ當該費目ノ雜費、作場費等ヨリ支辨スベシ

附表
第二回海軍労働統計實地調査施行規則適用
作業廳及労働調査係長並係員表

| 所屬區分 | | 作業廳 | 労働調査係長數 | 労働調査係員數 |
|--------|-------|-------|---------|-------------|
| 横須賀鎮守府 | 工廠 | 横須賀海軍 | — | 労働者約五十名ニ付一名 |
| | 軍需部 | 横須賀海軍 | — | 同 |
| 建築部 | 横須賀海軍 | — | — | 同 |
| | 建築部 | — | — | 右 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---------|--------|-------|-------|-------|----------|----------|---------|--------|--------|---------|------|-------|-------|
| 海軍艦政本部 | | 大湊要港部 | | 舞鶴要港部 | | 佐世保鎮守府 | | | 吳鎮守府 | | | | | |
| 海軍火藥廠 | 海軍技術研究所 | 海軍艦政本部 | 大湊要港部 | 舞鶴要港部 | 舞鶴要港部 | 佐世保海軍建築部 | 佐世保海軍軍需部 | 佐世保海軍工廠 | 吳海軍建築部 | 吳海軍軍需部 | 海軍燃料採炭部 | 海軍本廠 | 廣海軍工廠 | 吳海軍工廠 |
| 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | 一 | |
| 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | 同 | |
| 右 | 右 | 右 | 右 | 右 | 右 | 右 | 右 | 右 | 右 | 右 | 右 | 右 | 右 | |

| | | | |
|---------|---------------------------|-----------|-------|
| 海軍航空本部 | | 海軍航空本部 | |
| 備考 | 油部、燃料廠、製油部、研究部、會計部及醫務部ヲ謂フ | 備考 | 部製圖工場 |
| 第一號 様式 | | 昭和二一年十月十日 | |
| 勞働者名簿 | | 勞働者名簿 | |
| 作業應名() | | 作業應名() | |
| 番號 | 勞働者氏名 | 備考 | 番號 |
| 勞働者氏名 | 備考 | 番號 | 勞働者氏名 |
| 備考 | 備考 | 備考 | 備考 |

第二號 様式

(註)

- 一、備考欄ニハ「調査不能」又ハ其ノ他ノ參考事項ヲ記入スルコト
- 二、作業應名ニハ附表ニヨル作業應名ヲ記入シ、山ハ()内ニ鑛山ト記入スルコト

要 計 表

所屬應名

| 作業應名 | 工場又ハ鑛山數 | 勞働者數 | | |
|------|---------|------|---|---|
| | | 總數 | 男 | 女 |
| 合計 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

(註)

- 一、作業應名欄ニハ附表ニ於ケル作業應名ヲ、工場又ハ鑛山數欄ニハ「」ト記入スルコト

- 二、海軍燃料廠ニ於テハ本廠及採炭部ニ別テ前項ニ依リ記入スルコト
- 三、所屬應名ニハ「、、、、鑛守府」又ハ「、、、、要港部」等ト記入スルコト

海軍公報

第七十九號

昭和二年八月六日(土)
海軍大臣官房

○辭令

獨國駐在員監督ヲ命ス 海軍大佐 服部 豊彦
海軍中佐子爵 井上 勝純
獨國駐在員監督ヲ免ス(以上ハ明海軍省)

○雜款

○司令驅逐艦指定
第二十三驅逐隊司令ハ七月三十日司令驅逐艦ヲ第三十二號驅逐艦ニ指定セリ

○司令驅逐艦變更
第二十一驅逐隊司令ハ本月一日司令驅逐艦ヲ桐ヨリ樺ニ變更セリ

○郵便物發送先
第二十二驅逐隊(樺、桐、櫻、橘)宛

八月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
同 十九日迄ニ 同 鎮海
同 三十一日迄ニ 同 舞鶴
其ノ後ハ 敦賀

特務艦間宮宛

八月 九日迄ニ到達見込ノモノハ 佐伯
同 十六日迄ニ 同 吳
同 十九日迄ニ 同 佐世保
同 三十一日迄ニ 同 舞鶴
其ノ後ハ第一艦隊司令部ニ同ジ

海軍公報 第七十九號 昭和二年八月六日

八〇五

2112

○艦船所在

指[▲]印[△](ハホ)ノ
指定ヲ要セズ

○八月六日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、

阿蘇、滿州、春日

野風、沼風、波風、驅一、驅三一、

灘風、島風、夕風、汐風、驅三、驅五、

驅七、驅九、杉、松、柏、三月月、

白霧、楓、桂

波一、波二、波九、波一〇、呂一、

呂二、呂三、呂五、呂五、呂五、

呂五、呂六、呂三、呂二、呂二、

伊一、伊二、伊三、伊二

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響

武藏、富士、松江、大泊、青島、洲崎、

室戸

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

浦賀(驅三)

大湊、峯風、澤風

【吳】

明石、千歲、淀、霧島、球磨、韓崎、

木曾

驅四、驅二、驅八、驅六、萩、薄、

藤、葛

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五、呂二、呂二八、呂五、呂五、

【神戶】

高崎

【佐伯】

長門、陸奥、伊勢、東怒、阿武隈、

由良、龍田、迅鯨、金剛、比叡、

加古、古鷹、神通、那珂、夕張、

長鯨、鳳翔、赤城

樅、梨、竹、樞、梅、柿、榆、菱、

炭、葦、葦、藜、藜、蓬、藜、藜、

驅二九、驅三〇、驅二七、驅二八、

驅一五、驅一三、驅一九、驅二三、

驅二五、驅一三、驅一九、驅二三、

呂六四、呂六八、呂六三、呂六二、

呂六〇、呂六一、呂六七、呂六五、

伊五二、伊五一

水無月

能登呂、間宮

吾妻、多摩

【舞鶴】

榎、櫻、桑、椿

【佐世保】

五十鈴

最上、名取、出雲、若宮、天龍、常磐、

驅三二、驅三四、樺、桐、驅一一

海軍公報 第百七十九號 昭和二年八月六日

八〇七

海軍公報

第百八十號

海軍大臣官房

昭和二年八月八日(月)

○雜款

○特務艦早鞆行動豫定

| 地名 | 着 | 發 |
|-----|--------|-------|
| 佐世保 | 八月二十七日 | 八月二十日 |
| 才山 | 八月二十四日 | 九月六日 |
| 德山 | 九月十四日 | 九月十五日 |
| 佐世保 | 九月十六日 | |

○郵便物發送先

軍艦滿州宛
 八月三十一日迄ニ到達見込ノモノハ 大湊
 其ノ後ハ 横須賀

特務艦早鞆宛

八月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
 九月十四日迄ニ同 徳山郵便局留置
 其ノ後ハ 佐世保

○郵便物發送先變更(八月五日)

(本欄参照)

特務艦鶴見宛
 八月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
 其ノ後ハ 舞鶴

○通信

京城無線電信局改裝完成通信開始
 中央通信所 京城無線電信局(京城本町一丁目)
 龍山送信所 京城府漢江通(北緯三十七度三十一分十八秒)
 清涼里受信所 京畿道高陽郡崇仁面清涼里
 (北緯三十七度三十五分四秒
 東經百二十七度二分五十七秒五)

| 電波長 (米) | 呼出符號 | 方式並電 | | |
|------------|--|--------|----------|------|
| | | 第一裝置 | 第二裝置 | 第三裝置 |
| 六、三〇〇 | J B A | エム式 | 電球式六「キロ」 | 電球式 |
| | | 一五「キロ」 | | |
| | 可聴 六〇〇、八〇〇、一八三五、 二、三〇〇、二、四〇〇、二、六〇〇、 四、五〇〇、六、三〇〇 | J B J | 電球式 | 電球式 |
| | | J B D | 電球式 | 電球式 |
| 未定 | | | | |

海軍公報 第百八十號 昭和二年八月八日

八〇九

2115

| | | | |
|--------|---------|------------------------------|-----|
| 通常通達距離 | 二六〇「キロ」 | 可變 七〇〇「キロ」、其ノ 他九〇〇「キロ」 | |
| 取扱業務 | 固 定 | 船舶並固定 | 固 定 |
| 執務時間 | 固 定 不定、 | 船舶 無休 | |

○正誤
 本月五日公報號外令達欄 官房第二六二號第十二條
 第一項第六號中「名節」ハ「名簿」ノ誤

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○八月八日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、

阿蘇、滿州、春日

野風、沼風、波風、驅一、驅三、

灘風、島風、夕風、汐風、驅三、驅五、

驅七、驅九、杉、榊、松、柏、三日月、

白露、楓、桂

波一、波二、波九、波一〇、呂一二、

呂一三、呂五五、呂五四、

呂五六、呂三二、呂二一、呂二〇、

伊一、伊二、伊三、伊二二

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響

武藏、富士、松江、大泊、青島、室戸

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

【浦賀】

(驅三三)

峯風、澤風

【大湊】

五十鈴

【函館】

明石、千歲、淀、霧島、球磨、韓崎、

木曾、勝力

驅四、驅二、驅八、驅六、萩、薄、

藤、萬

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、呂二八、呂五一、呂五三、

【神戶】

(那智)、(伊五五)

【以波灣】

(衣笠)、(伊二二)

【佐伯】

扶桑

【長門】

陸奥、伊勢、鬼怒、阿武隈、

【由良】

龍田、迅鯨、金剛、比叡、

【加古】

古鷹、神通、那珂、夕張、

【長鯨】

鳳翔

【從、梨、竹、樞、柿、楡、菱、

蕨、葦、蓮、蓬、驅二八、

驅二九、驅三〇、驅二七、驅一七、

驅一五、驅一三、驅一九、驅二三、

驅二五、

呂六四、呂六八、呂六三、呂六二、

呂六〇、呂六一、呂六七、呂六五、

伊五二、伊五一

能登呂、問宮

【舞鶴】

吾妻、多摩

【橫、櫻、桑、椿】

呂三一

【佐世保】

最上、名取、出雲、若宮、天龍、常磐

驅三三、驅三四、樺、桐、櫻、橘、

驅三一

呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、

海軍公報 第百八十九號 昭和二年八月八日

八一

2117

呂二四、呂二三、呂二五、呂三三、
 呂二九、呂三〇、呂六六
 朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風
 敷島、佐多、知床、早稲、鶴見
 (伊五四)
 【長崎】(香葉)
 【古仁屋】山城、長良
 【馬公】大井、羽風、秋風、太刀風
 【鎮海】山谷風、江風、菊、葵
 【旅順】對馬、海風、檜、榎
 驅一二、驅一〇、驅一六、驅一八
 【才】隱戸
 【堆察加沖】矢風、沖風
 【青島】平戸
 【上海】利根、矢矧、八雲、嵯峨、隅田
 時津風、笠戸丸
 【鎮江】檜
 【南京】檜
 【蕪湖】桃
 【九江】浦風
 【大江】柳風
 【漢口】川内、安宅、伏見
 磯風、天津風、浪風
 【長沙】鳴戸、鳥羽

【沙市】勢多
 【宜昌】保津
 【萬縣】比良
 【重慶】堅田
 【廣東】宇治
 【桑港】襟裳
 【サンビドロ】磐手、淺間
 【航海中】
 駒橋 (七月二十日佐世保發—長崎港外へ)
 驅二一 (一日德山發—佐伯へ)
 栗 (一日佐伯發—別府灣へ)
 日向 (三日德山發—作業地へ)
 尻矢 (四日「オハ」發—徳山へ)
 神威 (五日「シヤトル」發—桑港へ)
 膠州 (五日「ミレ」發—「ボナベ」へ)
 高崎 (六日神戶發—横須賀へ)
 梅 (七日佐伯發—佐世保へ)
 大和 (七日小黒山島沖作業地發—佐世保へ)
 洲崎 (七日横須賀發—大湊へ)
 赤城 (八日横須賀發—館山へ)

(部内限ナシ)

(31)

海軍公報

第百八十一號

昭和二年八月九日(火)
海軍大臣官房

○雜款

○司令潜水艦變更

第十七潜水隊司令ハ本月五日司令潜水艦ヲ一時伊號第五十三潜水艦ヨリ伊號第五十二潜水艦ニ變更セリ

第七潜水隊司令ハ本月六日司令潜水艦ヲ伊號第一潜水艦ヨリ伊號第二潜水艦ニ變更セリ

海軍公報 第百八十一號 昭和二年八月九日

八一三

2119

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○八月九日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、阿蘇、春日

野風、沼風、波風、驅一、驅三一、瀨風、島風、夕風、汐風、驅三、驅五、驅七、驅九、杉、神、松、柏、三日月、白鷺、桂

波一、波二、波九、波一〇、呂二二、呂一一、呂一三、呂五五、呂五四、呂五六、呂二二、呂二一、呂二〇

伊二、伊一、伊三、伊二、夕立、夕暮、如月、響

武蔵、富士、松江、大泊、青島

浦賀、(驅三三)

【浦賀】

山城

【大湊】

澤風

【函館】

五十鈴

明石、千歳、淀、霧島、球磨、韓崎、木曾、勝力、扶桑、驅四、驅三、驅八、驅六、萩、薄、藤、葛、波三、波四、波五、波六、波七、波八、

【神戶】

衣笠、(伊二二)

長門、陸奥、伊勢、鬼怒、阿武隈、由良、龍田、迅鯨、金剛、比叡、加古、古鷹、神通、那珂、夕張、長鯨、鳳翔

從、梨、竹、樞、梅、柿、楡、栗、葦、菫、驅三〇、驅二七、驅二八、驅一九、驅一三、驅二二、驅一九、驅三三、驅二五、桶

呂六四、呂六八、呂六三、呂六二、呂六〇、呂六一、呂六七、呂六五、伊五三、伊五一

能登呂、問宮

吾妻、多摩

【舞鶴】

檜、樺、桑、椿

【佐世保】

最上、名取、出雲、若宮、天龍、常磐、駒橋

驅三二、驅三四、樺、桐、櫻、橘、驅一一、梅

海軍公報

第百八十二號

海軍大臣官房

昭和二年八月十日(水)

○通牒

艦本第四六四九號

昭和三年艦本四〇八号
ニテ本号自ラ消滅

昭和二年八月十日

海軍艦政本部長

自然消滅

海軍共済組合關係各廳長殿

繼續シテ療養ノ給付ヲ受ケ得ル者ニ對スル
書式記載事項ニ關スル件

海軍共済組合規則第六十三條ニ依リ繼續シテ療養ノ給付ヲ受ケ得ル者ニハ海軍共済組合規則施行細則第二號ノ二書式健康保險需療書、同三號書式健康保險部組員計算票及同第十八號書式健康保險部組員療養票ノ所定欄又ハ餘白ニ資格喪失年月日、繼續シテ療養ノ給付ヲ受ケ得ベキ期間ノ最終月日ヲ夫々朱書スルモノトス
右通牒ス

艦本第四六五〇號

昭和三年艦本四〇八号
ニテ本号自ラ消滅

昭和二年八月十日

海軍艦政本部長

自然消滅

海軍共済組合關係各廳長殿

傷病手当金請求書記載事項ニ關スル件

海軍共済組合規則施行細則第二十一號乙書式傷病手当金請求書記載事項中請求者ニ依リ生計ヲ維持スル者ノ氏名、生年月日、請求者トノ續柄ノ記載事項多數アル場合ハ別紙ニ記載添付スルコトヲ得
右通牒ス

○雜款

○司令潜水艦變更

第二十四潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ呂號第六十四潜水艦ヨリ呂號第六十八潜水艦ニ變更セリ

海軍公報 第百八十二號 昭和二年八月十日

八一七

2122

○艦船所在

▲印ハハボシノ
指定ヲ要セズ

○八月十日午前十時調

【横須賀】

千早▲、筑摩▲、榛名▲、北上、日進、

阿蘇、春日

野風、沼風、波風、驅一、驅三一、

灘風、島風、夕風、汐風、驅三、驅五、

驅七、驅九、杉、松▲、柏、三日月、

白露、桂

波一、波二、波九、波一〇、呂一一、

呂一一、呂一三、呂五五、呂五四、

呂五六、呂二二、呂二一、呂二〇、

伊二、伊一、伊三、伊二一、

掃一、掃二、掃三、掃四、神風、初霜、

夕立、夕暮、如月、響

武藏、富士、松江、大泊、青島

(加賀)、(妙高)、(伊五八)

浦賀 (驅三三)

館山 赤城

大湊 峯風、澤風

吳 明石、千歳、淀、霧島、球磨、韓崎、

木曾、勝力、扶桑

驅四、驅二、驅八、驅六、萩、薄、

藤、葛

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、呂二八、呂五一▲、呂五三▲

【神戶】

(那智)、(伊五五)

【德山】

(衣笠)、(伊二二)

【佐伯】

長門、陸奥、口金剛、風翔

【舞鶴】

吾妻、多摩、楢、桑▲、椿▲

【佐世保】

呂三一、最上、名取、出雲、若宮、天龍▲、常磐、

【鎮海】

駒橋、長良、驅三二、驅三四、口樺、桐、櫻、橘、

【長崎】

驅一、口梅、呂一、呂二、呂四、呂三、呂五、

【馬公】

呂二四、呂三三、呂二五、呂三二、

【鎮海】

呂二九、呂三〇、呂六六

【旅順】

對馬、朝風、若葉、潮、初雪、子日、春風

【鎮海】

敷島▲、佐多、知床、早鞆、鶴見、大和

區驅一二、驅一〇、驅一六、驅一八

【才心】隱戸、沖風

【青島】平戸、利根、矢矧、八雲、隅田

【上海】時津風、笠戸丸

【鎮江】檜

【南京】桃

【蕪湖】浦風、柳、川内、安宅、伏見

【九江】磯風、天津風、濱風

【漢口】磯風、天津風、濱風

【長沙】鳥羽

【沙市】勢多

【宜昌】保津

【萬縣】比良

【重慶】堅田

【廣東】宇治

【香港】神威

【上海】磯風、天津風、濱風

【上海】磯風、天津風、濱風

【上海】磯風、天津風、濱風

【上海】磯風、天津風、濱風

【航海中】
尻矢 (四日「才心」發—德山)
膠州 (五日「ミレ」發—「ボナベ」)

高崎 (六日神戸發—橫須賀)
洲崎 (七日橫須賀發—大湊)

山城、區帆風、羽風、秋風、太刀風 (八日古仁屋發—橫須賀)

嵯峨 (八日上海發—漢口)

滿州、楓 (八日橫須賀發)

室戸 (八日橫須賀發—吳)

襟裳 (八日桑港發—德山)

五十鈴 (九日函館發—鹽釜)

神通、那珂、區伊五二、伊五二、間宮 (九日佐伯發—吳)

由良、龍田、迅鯨、夕張、區樅、梨、竹、樅、區榊、柿、榆、栗、區菱、蕨、蕨、區蓼、蓮、區驅二八、驅二七、驅三〇、驅二九、驅一七、驅一三、驅一五、區驅二一、驅一九、區驅二三、驅二五、區呂六八、呂六四、呂六三、區呂六二、呂六〇、呂六一、呂六七、呂六五、能登呂 (九日佐伯發—佐世保)

古鷹 (九日佐伯發—鹿兒島)

伊勢、日向、區鬼怒、阿武隈、區長鯨 (十日佐伯發—吳)

加古 (十日佐伯發—鹿兒島)

(部内限ナシ)

海軍公報

第百八十三號

昭和二年八月十一日(木)

海軍大臣官房

○通牒

官房第二六七二號ノ二

昭和二年八月十一日

海軍省副官
則登載

部内一般御中

海軍省副官

香港碇泊中ノ外國軍艦無線電信使用ノ件

首題ノ件ニ關シ今般在香港野々村總領事館事務代理ヨリ別紙ノ通報告アリタル旨外務省ヨリ通牒有之候
右通牒ス

追テ明治四十四年官房第一四二六號(諸例則卷二、五九二頁)及大正十三年官房第二五六四號(諸例則卷二、五九二頁ノ二)ハ自然消滅ノコトト御承知相成度

(別紙)

一九二七年五月一日附英國支那艦隊司令官「テイルツイット」中將制定同六月三十日官報告示

海軍公報 第百八十三號 昭和二年八月十一日

香港ニ寄港スル英國以外ノ外國軍艦ノ無線電信裝置使用ニ關シテハ左記各號ノ定ムル所ニ依ルベシ

一、遭難通信、緊急通信又ハ D. A. (V. P. S.)ト直接交信スル場合ノ外六百「メートル」ノ波長ヲ以テ送信スルコトヲ得ズ

二、左記波長ノ使用ヲ禁ズ

二十五メートル、三十三メートル乃至三十六メートル、二百五十メートル、三百メートル、六百メートル、八百メートル、千二百メートル、二千二百メートル、二千四百メートル

三、出來得ル限リ純粹ナル持續電波ヲ使用スルコトヲ要ス

四、D. Aguiar (V. P. S.) Kowloon 測候所 (G. O. W.) 又 Stonecutters (B. X. Y.) ヨリ「待テ(AS)」ノ要求ヲ受ケタル時ハ之ニ應ジ「繼續(K)」ヲ受クル迄送信ヲ再開スベカラズ

連續送信中ハ十分間毎ニ間隔ヲ置キ六百メートルノ波長ヲ待受ケ前項「待テ」ヲ注意スベシ

官房第二六七二號ノ二

八二二

2125

昭和二年八月十一日

海軍省 副官

部内一般御中

西班牙ニ於ケル外國艦船ノ無線電信
電話局使用ノ件

首題ノ件ニ關シ今般在西班牙太田公使ヨリ別紙ノ通報告
アリタル旨外務省ヨリ通牒有之候
右通牒ス

(別紙)

外國船舶ノ無線電信電話局使用規則
制定ニ關スル西國政府通牒譯文

○第六號

一九二七年六月四日馬德里ニ於テ

外務大臣代理 ベ、アルメイダ 自署

日本國特命全權公使 太田爲吉閣下

以書翰致啓上候陳者陛下ノ政府ハ今般外國艦船ガ西班
牙國ノ港灣ニ滞在中無線電信電話局ヲ使用スル場合ニ
關スル現行法規ヲ統一スルノ目的ヲ以テ今般是等通信
ハ左記規則ニ依ルベキコトニ相定メ候
西國領地港灣内ニ滞在中ノ外國艦船ハ其ノ種類ノ如何
ヲ問ハズ豫メ許可ヲ得ルコトヲナクシテ西國無線電信局
及無線電話局ヲ使用スルコトヲ得ズ

但シ難船又ハ不可抗力又ハ航海上止ムヲ得ザル場合ハ
此ノ限リニ非ラズ

外交機關ニヨリ豫メ成規ノ認承ヲ得テ西班牙國ノ港灣
ヲ訪問スル外國軍艦ニ付テハ無線局使用ノ許可ハ豫定
航路ニ關シテ西國政府ノ同意ヲ得ル際同時ニ之ヲ請求
スベシ

己ムヲ得ザル事情ノ下ニ寄港ヲ餘儀ナクセラレタル外
國軍艦ノ場合ニハ當該港務長官ハ入港ノ事情ニ鑑ミ無
電使用ノ許可ヲ決スベシ
右御通知申上候間貴國政府へ移牒方可然御取計相成度
此段御依頼申進候
本大臣ハ此ノ機會ニ於テ重ネテ閣下ニ敬意ヲ表シ候
敬具

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第二十一驅逐隊司令ハ本月十日司令驅逐艦ヲ權ヨリ桐
ニ變更セリ

○事務所設置

第三十三號驅逐艦裝員事務所ヲ浦賀船渠株式會社浦
賀工場内ニ設置シ本月九日ヨリ事務ヲ開始セリ

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○八月十一日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、阿蘇、春日、山城、赤城

野風、沼風、波風、驅一、驅三一、瀧風、島風、夕風、汐風、驅三、驅五、驅七、驅九、杉、松、柏、三日月、白露、桂、楓、帆風、羽風、秋風、太刀風

波一、波二、波九、波一〇、呂一三、呂一四、呂一五、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇

伊一、伊二、伊三、伊四、伊五、伊六、伊七、伊八、伊九、伊一〇、伊一一、伊一二、伊一三、伊一四、伊一五、伊一六、伊一七、伊一八、伊一九、伊二〇、伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、伊二五、伊二六、伊二七、伊二八、伊二九、伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、伊九五、伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇

武藏、富士、松江、大泊、青島

【浦賀】

五十鈴

【大湊】

峯風、澤風

【吳】

明石、千歲、淀、霧島、球磨、韓崎、木曾、勝力、扶桑、伊勢、日向、神通、那珂、長鯨

驅二、驅八、驅六、萩、薄

藤、葛

波三、波四、波五、波六、波七、波八、波九、波一〇、波一一、波一二、波一三、波一四、波一五、波一六、波一七、波一八、波一九、波二〇、波二一、波二二、波二三、波二四、波二五、波二六、波二七、波二八、波二九、波三〇、波三一、波三二、波三三、波三四、波三五、波三六、波三七、波三八、波三九、波四〇、波四一、波四二、波四三、波四四、波四五、波四六、波四七、波四八、波四九、波五〇、波五一、波五二、波五三、波五四、波五五、波五六、波五七、波五八、波五九、波六〇、波六一、波六二、波六三、波六四、波六五、波六六、波六七、波六八、波六九、波七〇、波七一、波七二、波七三、波七四、波七五、波七六、波七七、波七八、波七九、波八〇、波八一、波八二、波八三、波八四、波八五、波八六、波八七、波八八、波八九、波九〇、波九一、波九二、波九三、波九四、波九五、波九六、波九七、波九八、波九九、波一〇〇

伊波、水無月、長月、菊月、磯波、綾波、野間、野島、劍崎、朝日、攝津、石廊

【神戶】

金剛

【德山】

加古

【油津】

吾妻、多摩

【舞鶴】

樺、桑、椿

【佐世保】

最上、名取、田雲、若宮、天龍、常磐、駒橋、長良、由良、龍田、迅鯨

夕張、驅三三、驅三四、驅三五、驅三六、驅三七、驅三八、驅三九、驅四〇、驅四一、驅四二、驅四三、驅四四、驅四五、驅四六、驅四七、驅四八、驅四九、驅五〇、驅五一、驅五二、驅五三、驅五四、驅五五、驅五六、驅五七、驅五八、驅五九、驅六〇、驅六一、驅六二、驅六三、驅六四、驅六五、驅六六、驅六七、驅六八、驅六九、驅七〇、驅七一、驅七二、驅七三、驅七四、驅七五、驅七六、驅七七、驅七八、驅七九、驅八〇、驅八一、驅八二、驅八三、驅八四、驅八五、驅八六、驅八七、驅八八、驅八九、驅九〇、驅九一、驅九二、驅九三、驅九四、驅九五、驅九六、驅九七、驅九八、驅九九、驅一〇〇

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|------------|---------------------------------|------------------|------------|-----------------|----------------------------------|------------|-----------------------------------|-----------|-----------|------------|-----------|----------------------------------|-------------------|------------------|
| 【長崎】 古鷹 青葉 伊五四 能登呂 | 【鹿兒島】 古鷹 青葉 伊五四 能登呂 | 【馬公】 大井 | 【鎮海】 山谷風、江風、菊、葵 山風、海風、檜、榎 | 【旅順】 對馬 隱戸 | 【才心】 隱戸 | 【華察加神】 矢風、沖風 | 【秦皇島】 驅一、驅二、驅三、驅四、驅五、驅六、驅七、驅八 | 【青島】 平戸 | 【上海】 利根、矢矧、八雲、隅田 時津風 笠戸丸 | 【鎮江】 檜 | 【南京】 桃 | 【燕湖】 浦風 | 【九江】 柳 | 【大冶】 川内、安宅、伏見、嵯峨 磯風、天津風、濱風 | 【漢口】 磯風、天津風、濱風 | 【長沙】 鳴戸 鳥羽 |
|--------------------------------|---------------------------------|------------|---------------------------------|------------------|------------|-----------------|----------------------------------|------------|-----------------------------------|-----------|-----------|------------|-----------|----------------------------------|-------------------|------------------|

【沙市】 勢多
【宜昌】 保津
【萬縣】 比良
【重慶】 堅田
【廣東】 宇治
【桑港】 神威
【サンビトロ】 磐手、淺間

【航海中】

尻矢 (四日「オハ」發—徳山へ)
膠州 (五日「ミレ」發—「ボナベ」へ)
高崎 (六日神戸發—横須賀へ)
滿州 (八日横須賀發)
室戸 (八日横須賀發—吳へ)
襟裳 (八日桑港發—徳山へ)
間宮 (九日佐伯發—吳へ)
阿武隈 (十日徳山發—佐世保へ)
比叡 (十日徳山發—佐世保へ)
長門、陸奥、風翔、楠 (十日佐伯發—佐世保へ)

(附録四頁、部内限ナシ)

海軍公報 附録

昭和二年八月十一日(木)
海軍大臣官房

○雜款

○圖書

七月中納庫セル圖書左ノ如シ(海軍文庫)

和漢書ノ部

○總記

日本叢書日録 濱野知三郎編 昭和二、二五六頁 五三六

一 軍事、航空

軍需工業動員ニ關スル常識的説明 陸軍中將吉田豊彦著 昭和二、三九三頁 五三三

陸海軍腕くらべ 成川篤著 昭和二、三版 三三三頁 五三三

今世界大海戦史 春藤真市郎著 昭和二、四八〇頁 五三三

シユトランド海戦の研究 海軍少將日高龍爾著 昭和二、二八〇頁 五三二

彈雨を潜りて 多門二郎著 昭和二、四二〇頁 五三二

北極を征服するまで 堀内敬三著 昭和二、二八二頁 五三二

アムンゼン 池田林儀著 昭和二、二二〇頁 五三二

二 法律、政治、經濟、社會

勞農露國現行重要法令集 外務省歐米局編 昭和二、三前 六六〇頁 五三四

民法讀本 穗積重遠著 昭和二、二三四頁 五三九

勞働行政綱要 河原田稔吉著 昭和二、五三〇頁 五三五

實業政治 武藤山治著 昭和元、再版 二三〇頁 五三七

政治讀本 尾崎行雄著 昭和二、二〇〇頁 五三六

外務省公表集 第七輯 同省編 昭和元、九二頁 五三七

外交及外交史研究 松原一雄著 昭和二、七八九頁 五三四

大西猪之介經濟學全集 高島佐一郎、南亮三郎編、昭和二 五二七

經濟讀本 第一卷 經濟學認識論 五八八頁

經濟讀本 第二卷 經濟原論 上 五一頁

上海附近經濟事情 參謀本部編 大正一四、三四一頁 五三六

社會思想讀本 田村佐重著 昭和二、八版 二六一頁 五三六

朝鮮人の思想と性格 朝鮮總督官房編 昭和二、三七頁 五三六

支那國民運動の指導原理 長野期著 昭和二、四一八頁 五三二

滿洲労働問題の數的一考察 滿鐵東亞經濟調查局編 昭和二、七九頁 五八三

三 歴史、傳記

石川縣史 第一編 同縣編 昭和二、一二九五頁 五四七

皇室略牒 (昭和元年十二月三十一日調) 官内省圖書寮編 昭和二、三六頁 五六五

依仁親王 海軍中將小笠原長生等編 昭和二、五四〇頁 五四八

四 地誌、紀行

比律賓の現状 商工省商務局編 昭和二、二九三頁 五三五

世界の變遷を見る 幣原坦著 大正一五、四九〇頁 五三六

世界英傑巡禮 海軍中將山本英輔述 太田正孝編 昭和二、二二〇頁 五三九

五 宗教、哲學、教育

神道讀本 顯彰日本社編 昭和二、四版 一九五頁 五五六

哲學思想讀本 川制佐重著 昭和二、六版 二七二頁 五五七

教育讀本 關屋龍吉著 昭和二、三〇八頁 五四〇

エミール 佛、ジャン、ジャック、ルソオ著 平林初之輔譯 (世界大思想全集第十卷) 昭和二、六八〇頁 五三九

九 産業

實業讀本 武藤山治著 大正一五、再版 三二一頁 五四一

工業保健及能率 黒川小六編 大正一三、三版 三〇三頁 五四〇

能率 工場管理 藤田一著 昭和二、八五七頁 五四〇

大正十五年 大日本外國貿易年表 上篇 大藏省編 昭和二、四七六頁 五三八

我國の貿易統計に就て 全國經濟調查機關聯合會編 昭和二、五五頁 五八二

横濱港重要貿易品解説 横濱商會會議所編 昭和二、三七頁 五七〇

本邦對外貿易と名古屋港の地位 名古屋市役所編 昭和二、二五頁 五六三

我國海外貿易品としての名古屋市製造の地位 名古屋市役所編 昭和二、三〇頁 五六三

河海工學 第五編 海工 君島八郎著 昭和二、二冊 八一七頁 五三六

(内容 日次大要) 一、港 灣 二、埠頭設備 三、上屋倉庫 四、埠頭鐵道及船車ノ連絡 五、荷役設備 六、造船修理 七、港内水深ノ維持 八、航路標識

日本産業資料大系 瀧本誠一、向井鹿松編 昭和二、第十一卷 運輸業 八〇八頁 五三四六

大正十三年中鐵道輸送主要貨物數量 鐵道省運輸局編 昭和元、二五七頁 五三七五

綜合 主要材料及ビ商品智識 野野山清藏著 昭和二、五四六頁 五三四四

吉林省産業の現状 滿鐵庶務部調査課編 昭和二、二六〇頁 五三八四

洋書ノ部

I. NAVAL & MILITARY.

Bywater, H. C. Navies and nations. A review of naval developments since the Great War. Londn, 1927. p. 285. 6141

| | |
|--|--|
| Harper, J. E. P., Rear-Admiral, R. N. Reproduction of the record of the Battle of Jutland. London, 1927. p. 121. 6142 | 3. Road work on the punitive expedition into Mexico. By Capt. Ernest Graves. Battlefield illumination By Capt. R. C. Knidell & Capt. W. S. Drysdale. |
| _____ The truth about Jutland. London, 1927. p. 200. 6139 | 4. How France subsists her armies at the front. Tr. from "L'illustration". By Col. W. R. Livermore. |
| Sutton, Edward, Fleet Surgeon, R. N. The fitting out and administration of a naval hospital ship. N. Y., 1918. p. 110. 6151 | 5. The Madsten and Bergmann, 1915, models of automatic rifles used by the German infantry. |
| Chemical warfare, A magazine devoted to the activities of the chemical warfare service. Published by the Chemical Warfare School at Headquarters Edgewood Arsenal, Vol. II, No. 12, 1925. 5136 | 6. Organization and duties for trench fighting. By Capt. O. N. Solbert & G. Berstrand. |
| Fries, A. A., Brig. Gen. & C. J. West, Major, U. S. A. Chemical warfare. N. Y., 1921. p. 445. 6154 | 7. Poisonous gas in warfare. By H. E. Haferkorn & Felix Neumann. |
| Professional Memoirs, Corps of Engineers, U. S. Army, & Engineer Department at large. Vol. IX, No. 48. Wash., 1917. 6138 | 8. Duval, Pierre. War wounds of the lung: notes on their surgical treatment at the front. English translation. N. Y., 1913. p. 99. 6132 |
| Contents : 1. William E. Merrill. By M. E. Merrill. 2. Military roads on the Island of Oahu. By Lieut. W. E. R. Correll. | 9. Havard, Velety, Col., W. C., U. S. A. Manual of military hygiene for the military services of the United States. N. Y., 1917. p. 809. 6152 |
| | 10. Hughes, Basil & H. S. Banks. War surgery from firing-line to base. N. Y., 1919. p. 623. 6149 |
| | 11. Hutt, C. W. The future of the disabled soldier. |

2131

| | | | |
|--|------|--|------|
| N. Y., 1917. p. 199. | 6143 | Lord, F. T. Diseases of the bronchi, lungs, and pleura. Phila., 2nd ed., 1925. p. 776. | 6148 |
| Munson, E. I., Capt., M. D., U. S. A. The theory and practice of military hygiene N. Y., 1901. p. 971. | 6151 | Meredith, F. L. Hygiene. A textbook for college students. Phila., 1926. p. 719. | 6155 |
| Veeder, E. B. The medical aspects of chemical warfare, Baltimore, 1925. p. 327. | 6133 | Hamilton, Alice. Industrial poisons in the United States. N. Y., 1925. p. 590. | 6134 |
| II. SOCIOLOGY | | | |
| Burns, E. M. Wages and the state. A comparative study of the problems of state wage regulation. London, 1926. p. 443. | 6131 | Underhill, F. P. Toxicology or the effects of poisons. Phila., 1924. p. 292. | 6144 |
| The American labor year book. N. Y., 1927. p. 251. | 6130 | Withhaus, R. A. Manual of toxicology. N. Y., 1911. p. 1261. | 6150 |
| VII. PHYSIC | | | |
| Baker, T. T. The spectroscope. And its uses in general analytical chemistry. N. Y., 2nd ed., 1923. p. 208. | 6157 | IX. CHEMICAL INDUSTRY | |
| MEDICINE | | | |
| Barcroft, Joseph. The respiratory function of the blood. Part I. Lessons from high altitudes. Cambridge, 1925. p. 207. | 6145 | Wasserr, Bruno. The atmospheric nitrogen industry. With special consideration of the production of ammonia and nitric acid. Tr. by E. Tyleman. Phila., 1926. 2 vols. p. 746. | 6147 |
| Dodds, G. & J. D. Lickley. The control of the breath. London, 1925. p. 65. | 6146 | Williams, H. E. The chemistry of cyanogen compounds and their manufacture and estimation. Phila., 1915. p. 423. | 6153 |
| Haldane, J. S. Respiration. New Haven, 1922. p. 427. | 6158 | | |

2132

海軍公報

第百八十四號

昭和二年八月十二日(金)
海軍大臣官房

○雜款

○佛國軍艦「ジユール、ミシユレ」行動豫定
佛國軍艦「ジユール、ミシユレ」八月十四日頃長崎入
港三菱造船所船渠ニ入渠、同月末出渠大連ニ、尙同國
極東艦隊ノ諸艦ハ八月下半期ノ間大連ニ就モ回航ノ豫
定

○郵便物發送先
軍艦大井宛

八月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 基 隆
其ノ後ハ 吳

○國際聯盟新嘉坡保健部東局傳染病週報(自七月二十四日
至同三十一日)

| | | | |
|----|-----|----|----|
| モン | ペ | コレ | 痘 |
| ン | ス | ラ | 瘡 |
| バ | ト | | |
| サ | | | |
| 一 | 患者 | 患者 | 患者 |
| | 死者 | 死者 | 死者 |
| | 鼠有兩 | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ハイ | 盤 | パン | ウ | 蘭 | ネ | マ | カ | 孟 | バ | モ | バ |
| フ | 谷 | ヂ | キ | 買 | ガ | ド | ル | 買 | セ | ハ | ス |
| オン | | エル | ザ | | バ | ラ | カ | | イ | メ | ス |
| | | マ | ガ | 九 | タ | ス | ツ | 四 | ン | ラ | ラ |
| | | シ | バ | | タ | | タ | | | | |
| | | タ | | ム | | タ | | | | | |
| 八 | 一 | | ム | | ム | | タ | | | 五 | 二 |
| 八 | | | ム | | ム | 一 | タ | | | 二 | 九 |
| | | 七 | ム | | ム | 〇 | タ | | | 三 | 一 |
| | | | ム | | ム | 五 | タ | | | 七 | 八 |
| | | | ム | | ム | 三 | タ | | | | 五 |
| | | | ム | | ム | 一 | タ | | | | 三 |

海軍公報 第百八十四號 昭和二年八月十二日

八二五

2133

| マ カ オ | 香 港 | 長 春 | 長 崎 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 一 | | | |
| | 一 | | |
| | | 一 | |
| | | | 三 |

摘要 「アデン」、「カマラン」、「ペリム」島、「スラバヤ」、「バダン」、「サバング」、「ボンチャナク」、「サマリンド」、浦潮斯徳ハ孰モ報告未着

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○八月十二日午前十時調

【横須賀】

千早、筑摩、榛名、北上、日進、

阿蘇、春日、山城、赤城

野風、沼風、波風、驅一、驅三一、

灘風、島風、夕風、汐風、驅三、驅五、

驅七、驅九、杉、松、柏、三日月、

白露、桂、楓、帆風、羽風、秋風、

太刀風

波一、波二、波九、波一〇、呂一二、

呂一三、呂一五、呂一四、

呂一六、呂一七、呂一八、

呂一九、呂二〇、

伊二、伊三、伊四、

伊五、伊六、伊七、伊八、

伊九、伊一〇、伊一一、

伊一二、伊一三、伊一四、

伊一五、伊一六、伊一七、

伊一八、伊一九、伊二〇、

伊二一、伊二二、伊二三、

伊二四、伊二五、伊二六、

伊二七、伊二八、伊二九、

伊三〇、伊三一、伊三二、

伊三三、伊三四、伊三五、

伊三六、伊三七、伊三八、

伊三九、伊四〇、伊四一、

伊四二、伊四三、伊四四、

伊四五、伊四六、伊四七、

伊四八、伊四九、伊五〇、

伊五一、伊五二、伊五三、

伊五四、伊五五、伊五六、

伊五七、伊五八、伊五九、

伊六〇、伊六一、伊六二、

伊六三、伊六四、伊六五、

伊六六、伊六七、伊六八、

伊六九、伊七〇、伊七一、

伊七二、伊七三、伊七四、

伊七五、伊七六、伊七七、

伊七八、伊七九、伊八〇、

伊八一、伊八二、伊八三、

伊八四、伊八五、伊八六、

【浦賀】

五十鈴

峯風、澤風

明石、千歲、淀、霧島、球磨、韓崎、

木曾、勝力、扶桑、伊勢、日向、神通、

那珂、長鯨

驅四、驅二、驅八、驅六、萩、薄、

藤、葛

【佐世保】

最上、名取、出雲、若宮、天龍、常磐、

駒橋、長良、長門、陸奥、由良、

龍田、迅鯨、夕張、鳳翔

驅三三、驅三四、驅三二、驅三〇、

驅三九、驅三八、驅三七、驅三〇、

驅二九、驅二七、驅二七、驅三〇、

驅二五、驅二二、驅一九、驅二三、

驅二五、驅二、驅四、呂三、呂五、

呂二四、呂二三、呂二五、呂三二、

呂二九、呂三〇、呂六六、呂六八、

呂六四、呂六三、呂六二、呂六〇、

【神戶】

波三、波四、波五、波六、波七、波八、

呂五二、呂二八、呂五一、呂五三、

呂五七、呂五八、呂五九、呂一七、

呂一八、呂一九、呂一六、呂一四、

呂一五、呂二六、呂二七、伊五二、

伊五一、伊五三

浦波、水無月、長月、菊月、磯波、綾波

野間、野島、劍崎、朝日、攝津、石綿

室戸

(那智)、(伊五五)

(衣笠)、(伊二二)

尻矢

吾妻、多摩

榎、櫻、桑、椿

呂三

龍田、長良、長門、陸奥、由良、

駒橋、迅鯨、夕張、鳳翔

驅三三、驅三四、驅三二、驅三〇、

驅三九、驅三八、驅三七、驅三〇、

驅二九、驅二七、驅二七、驅三〇、

驅二五、驅二二、驅一九、驅二三、

驅二五、驅二、驅四、呂三、呂五、

呂二四、呂二三、呂二五、呂三二、

呂二九、呂三〇、呂六六、呂六八、

呂六四、呂六三、呂六二、呂六〇、

長崎 (青葉) 古鷹
 鹿兒島 大井
 馬公 大井
 鎮海 山風、海風、檜、榎
 才 隱戸
 秦皇島 驅一、驅二、驅三、驅四、驅五、驅六、驅七、驅八、驅九、驅一〇、驅一六、驅一八
 上海 利根、對馬、八雲、隅田
 鎮江 檜
 南京 檜
 燕湖 桃
 九江 柳
 大冶 川内、安宅、伏見、嵯峨
 漢口 磯風、天津風、濱風
 長沙 鳴戸
 沙市 鳥羽
 宜昌 勢多、保津

萬縣 比良
 重慶 堅田
 廣東 宇治
 桑港 神威
 【サンビドロ】 磐手、淺間
 【航海中】
 膠州 (五日「ミレ」發、「ボナベ」へ)
 滿州 (八日橫須賀發)
 襟裳 (八日桑港發「徳山」へ)
 問宮 (九日佐伯發「吳」へ)
 比叡 (十日徳山發「佐世保」へ)
 洲崎 (十一日大湊發「オハ」へ)
 金剛 (十二日徳山發「佐世保」へ)

(部内限一頁)